



## 第129回

### 今季ブレーク丸山希がW杯6勝目

※2026年1月の毎日新聞記事を元にした文章です。

校閲し、直すべきところを指摘してください。

◇ノルディックスキー・ワールドカップ（W杯）ジャンプ女子個人第19戦（1月20日・アリオンテック蔵王ジャンツェ）

◇ ◇

今季ブレークした丸山希が、「大好き」な宮城の地でトレードマークのスマイルをはじめさせた。

いきなり見せた。1回目は追い風にも乗って、ただ一人100㍎超えとなる101㍎を飛んで首位に立ち、2回目も力強く踏み切って92・5㍎。2位に15点差以上つけてW杯通算6勝目をマークした。「蔵王のジャンプ台でも試合で初めて100㍎超えを跳べてうれしかった」と跳びはねて喜びを表現した。

長野県野沢温泉村出身で、小学4年で競技を始めた。今季はW杯で初優勝

を挙げ、好調を維持。2月のミラノ・コルティナ冬季五輪の代表にも選出され、「目標は金メダル」と言い切る。蔵王のジャンプ台は昨夏のサマージャンプで3連覇を果たすなど、「勝手ながらすごく相性のいいジャンプ代と思っている」という。米どころの食も合っており、現地入り後の朝食で振る舞われた郷土料理「だし」と米をかき込み、「朝からテンションが上がった」。

この日は強風など悪天候のため予選がなくなり、本戦の開始時間も3時間以上遅れた。それでも「スタート間で聞こえる（観客）の応援はすごく力になった」と、落ち着いて飛ぶことができた。

W杯の個人総合順位は第19戦終了時点で2位。首位のニカ・プレブツ（ス

ロバキア)を破つての優勝は大きな自信になった。「弾みがついたらいいなと思うので、明日、そして(24、25日の)札幌(大会)と引き続き自分のジャンプが出せるよう頑張りたい」。翌21日の第20戦と、その先にあるミラノ五輪を見据えた。